



**建築鉄骨構造
技術支援協会**

Supporting Association
for Building Steel Structural Technology

SASST 技術評価 第 17-01 号

技 術 評 価 書

- ・ 技術名称 ベースプレート過大孔充填材を用いた露出柱脚工法
 (Q型親子フィラー柱脚工法)
- ・ 技術評価申請者 株式会社構造工学研究所 代表取締役 竹沢 吉雄
 扶桑機工株式会社 代表取締役 渡瀬 昌明
- ・ 技術概要 本工法は、露出柱脚用のベースプレートにあけたアンカーボルト装着用の過大孔に親子フィラーQ と称する特殊な形状をした一組の鋼製部材をボルト孔の上部から中間まで挿入し、更に親子フィラーQ の下部にグラウト材を注入することで、ボルト孔のクリアランスを規定の値以内とした露出柱脚と同等の力学的性能を有する工法である。本工法を適用するアンカーボルトは、M12 から M80 である。
- ・ 開発趣旨 露出柱脚のベースプレートにあけるアンカーボルト装着用の孔は、ボルト径+5mm 以内としなければならないことが建築基準法施行令 66 条に関連する告示（平成 12 年建設省告示第 1456 号）で規定されている。ただし、この規定は、構造計算等（実験を含む）で安全が確認された場合には適用されない。
 本工法では、露出柱脚のベースプレートにあけるボルト孔径を使用するアンカーボルトの径に応じてボルト径より 22~50mm 大きく設定しており、そこに親子フィラーQ を使用し、ベースプレート下に注入したグラウト材がボルト孔に侵入して親子フィラーと共にボルト孔を充填することでベースプレートに作用するせん断力を伝達する方法で、柱脚部におけるアンカーボルトの施工誤差を吸収することを目標としたものである。この点を構造実験および施工実験で確認している。

当協会の建築技術評価実施要領に基づき、上記の技術評価対象技術について、下記の通り評価する。

2018 年 5 月 15 日

(一社) 建築鉄骨構造技術支援協会

理事長

